

令和4年度 第1回学校運営協議会会議録（抜粋報告）

記録者：副校長 西里 孝義  
事務長 佐々木孝幸

1 日 時 令和4年6月6日（月）14：30～16：00

2 場 所 大会議室

3 出席者 11名／15名（学校運営協議会委員）

<学校評議員からの継続委員>

澤 藤 耕 平 様（退職校長会和賀会事務局長）

盛 島 徹 様（北上市立南中学校長）

<新規会員>

軽 石 卓 也 様（前PTA会長）

関 上 哲 様（富士大学 経済学部教授）

齊 藤 明 様（（有）ポス企画取締役 薬剤師 部活動指導員（器楽部））

高 橋 憲 一 様（（公財）北上市体育協会 施設係長）

小 原 和 雄 様（北上コンピュータ・アカデミー校長）

高 橋 樹 久 様（部活動指導員（鬼剣舞部））

<学 校>

校 長 寒河江 和 広

副校長 西 里 孝 義

事務長 佐々木 孝 幸

4 次第（進行：副校長）開会の前に配布資料確認の確認をいたします。

○開式のことば（副校長）4名の委員の方が所用のため欠席しております。

（1）校長挨拶

本日は、お忙しい中、皆様にご出席いただきましてありがとうございます。日頃本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。お配りしております、岩手日報の記事のとおり今年度から県立学校でもCS導入が始まります。本日は地域の方々や各方面の委員の皆様から本校の魅力化推進に向けてご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

（2）会長・副会長選出

（司会）：第5条より会長、副会長を選出いただきます。どなたか立候補はございませんか。

事務局案として、澤藤耕平様をご推薦いたします。異議なし。

会長が議長となり議事を進行。

（3）学校概況説明

（議長：澤藤）校長先生お願いします。

ア 本校の様子

配付資料に何が掲載されているか説明。部活動については、翔南新聞をご覧ください。

イ 学校経営計画について

昨年からの変更点や重点目標に絞ってお話します。

（1）学力の向上についてですが、本校は県の中では、ほぼ真中の学力の生徒が入学しているが、成績上位者とそうでない生徒の学力差が大きい。達成目標70%は低いと思う方もいるかもしれないが、教

科によって差もあるので、平均値の達成指標とした。なお、総合学科の特性上、キャリア教育を充実させている。

- (2) 昨年の目標であった「基本的生活習慣の確立」については家庭でしっかり指導をお願いします。今年のキーワードは社会性・主体性とし、大人とコミュニケーションできる生徒に育てたいと考えている。なお、部活動は任意加入であるが、部活動加入率は、現在 90%を超えている。
- (3) この地区の最近の高卒求人が多いので就職の達成指標から外し、大学・短大の進学者数に絞った。大学・短大へ目を向ける保護者が多くないが、大学・短大も行けるし、就職もできる高校としたいとの思いである。
- (4) 情報発信として、今年度から校長通信を発行している。現在 NO.4 を作成中である。NO.1 の下の方に昨年からの変更点をまとめてみました。また、本校ホームページも近々に刷新する予定である。今後も北上翔南高校を多くの人に知ってもらうため、情報発信をやっていく予定である。
- (5) いじめ対策をしっかりやっていきます。これについては県の重点目標でもあり、県全体で取り組むこととしております。本校でも昨年同様に未然防止や早期発見につとめ、積極的に認知し解決に向けて努力していきたい。

#### ウ 学校概況について

令和 4 年度の生徒数は 509 名で、割合はざっと言いますと女子が 300 名、男子が 200 名といったところです。卒業生はもうすぐ 2 万名となります。部活動の成果については、お手元にある翔南新聞に結果が載っておりますが、紙ベースの新聞はこれが最終号となります。今後は、HP 等 (note) でデジタル配信していきます。なお、先日行われました高校総体では、フェンシング部女子がインターハイを決めました。新体操部も頑張りましたが、優勝した学校に 2 点差で敗れ、インターハイを逃しました。卒業後の進路状況については、学校要覧 p39 をご覧ください。就職については、本校は技能職 (製造業) への就職が多いです。事務系はそれほど多くないです。給与も技能職が高いため、多くが管内の企業を希望しています。

最後になりますが、この会議の後、時間の許す限り授業や校舎内を見学いただきたいと思います。

#### (4) 意見交換

議長 (澤藤耕平様) 意見交換は、15:15 分頃までとします。最初ですから、お一人ずつ質問や意見をお願いします。

盛島委員 (北上市立南中学校長)

翔南高校さんには感謝しかない。今年度 50 名を受け入れていただいた。近所ですし、本校では人気のある高校です。大学進学も就職もできる、幅広い進路選択ができる。環境が広い。色々なことができる高校であるという印象を持っている。

Q: スラックス導入されましたが、どのような結果になっているか。夏のポロシャツについてもどうなっているか。

A: 女子用スラックスはジェンダーフリーの観点から導入した。入学前に 9 本売れたと聞いている。現在は何名かが着用している。まだ冬用のスラックスしかない。自転車通学にも便利なので、今後増える可能性はある。

この冬にエアコン工事が完了した。ポロシャツは真夏の高気温の際に登下校も含めて許可していたが、今年度はエアコンも導入されたことから、天候によって考慮したいと考えている。

軽石委員 (前 P T A 会長)

Q: いじめの件数は今もありますか。

A: 今年度も発生し、対応しています。年に 4 回いじめアンケートを取っていますが、記入していない生徒からの訴えで判明することもあり、面談や生徒観察を重視しています。

関上委員（富士大学 経済学部教授）

Q：昨年度翔南高校の生徒と接して、礼儀正しく、しっかり話を聞くのでファンになりました。私は翔南高校の生徒はポテンシャルがあると思う。学校評価についても拝見したが、学校の進路指導や保護者の進路に関しての考え等について教えてほしい。

A：赴任当初から進路指導は弱いと考えていた。以前は、進路指導課より学年が決定権を持っていたと聞く。本年度は、進路指導課が各担任にしっかりと指示を出すなど、現在は改善しつつある。保護者に関しては、HPで情報発信したり、一斉メールを流すなど情報の周知を工夫している。

齊藤委員（（有）ポス企画取締役 薬剤師 部活動指導員（器楽部））

Q：北上翔南のイメージは、挨拶がよい、鬼剣舞部がある、吹奏楽部はないが器楽部がある、高校総体やインターハイで活躍している等がある。もっと強くなればよい。中高連携をやっていけばもっとよくなるのではないかと思う。また、卒業式をさくらホールで行っているが、思い出作りとして大変いいと思う。残念なのは、定員割れしていること。もっと北上市と連携が必要ではないか。北上市立大学ができると聞いたがどうなのか今後に着目していきたい。

盛島委員（北上市立南中学校長）

少子化で南中も40人減だった。翔南高校は頑張っているが、子供はどんどん少なくなっている。いかに生徒確保をしていくか考えていかなければならないと思う。なお、私立高校がスポーツのできる生徒を早い段階でスカウトしていく。県外の高校へも行っている。

A：今年は昨年と同様人数を確保できたが、今後については私立高校の設備充実も進んでおり、脅威を感じている。あらゆる場面で魅力を伝えていかなければならないと考えている。

高橋委員（公財：北上市体育協会 施設係長）

Q：部活動の面から翔南と言えば、陸上や新体操、フェンシングが強豪であるが、大会結果のアピールをもっとしてほしい。メール発信システムがあるのであれば保護者へも情報が欲しい。文武で有能な生徒は翔南に入って頑張りたいと思ってもらえるようにしてほしい。

A：今の本校の生徒たちは言ってみればスマートで、なりふり構わず粘り強くやる生徒は少ない。学校としては、困難な場面に直面した時に、あと一歩乗り越えられるようなメンタルの指導について模索している。というのも、一部を除いて運動部の多くは県大会の初戦で敗退しているケースが目立つので。

小原委員（北上コンピュータ・アカデミー校長）

Q：私自身総合学科高校に勤務したことがある。総合学科は、最終的に進路や部活動など学校生活を通して3年間で方向性を決め、さらに上で自分を磨くことができる。今まで話に出た部活動の数や部員数について、進路指導では公務員希望者の対策などはどうなっているか。

A：学校要覧P26に部活動の加入者一覧があります。鬼剣舞部が多いです。部活動加入については、完全に任意加入でやっている。野球部は今年の夏は単独出場するために他の部員から人を借りてやっている。女子が多く、男子が少ないが、サッカー部は人気である。部の統廃合については、当該の部員が一名でもいれば継続させるつもりである。

もともと公務員希望は多くはない。しかし去年は県職員や自衛隊に数名入った。公務員指導は担当職員が工夫して行っているが、もっと学校全体のものとしてほしいと考えている。

高橋委員（部活動指導員（鬼剣舞部））

Q：3月末まで本校でお世話になっていました。私の子供は、ハード面で私立高校に行った。私立高校は翔

南高校を意識していると思う。翔南は駅から遠いので、翔南にいけば交通費がかかると言っている。冬場など保護者の送迎についてもう少し緩和してはどうか。文化祭を利用して、学校をアピールして欲しい。中学校1・2年生から学校を体験するなどPRしてほしい。

A：冬は雪が多く、除雪が大変である。保護者アンケートからは、昇降口まで送迎者を入れさせないなら教職員も第3駐車場から歩いたらどうかといった厳しい意見もいただいた。本校は敷地内に樹木も多く、視界が悪いので、安全を最優先にルールを決めたが、今後検討していきたい。なお、敷地利用については可能な限り地域に開放するのもいいかなと思っている。

澤藤委員（退職校長会和賀会事務局長）

Q：最後に私からも一言申し上げたい。昨年評議委員として書面で意見させていただいた。翔南高校は特色ある学校でいいと思うが、学校評価の項目で「特色があると思う」と「ボランティア活動について」の項目の先生方の評価が低い。先生方がそう思わないと特色を発揮できない。生徒に伝わらないと思う。

A：その通りだと思う。

関上委員（富士大学 経済学部教授）

Q：今後コミュニティ・スクールをどうしていくつもりですか。この委員からの意見など本当に可能なのか。

A：校長先生の学校運営に意見を出して、校長先生や副校長先生がまとめやすく手助けをしていくことでよいと思います。（澤藤委員）

澤藤委員（退職校長会和賀会事務局長）

以上、時間となりましたので、これで議長の任を終わります。ご協力ありがとうございました。

事務局

この後、授業見学してください。どこを御覧になっても結構です。

○閉式のことば（副校長）